

GE-2-i-08	C 映像文化論	第2学年	後期 選択必修	1.5単位
担当者	木全 公彦			
一般目標 (GIO)	映画・映像の文化に理解を深める。			
到達目標 (SBOs)	自分の目で映画・映像を見て、自分の言葉で語ることができること。			
受講心得・準備学習等	授業中は映画を一部分ないし全編見せながら講義する。 途中退出は認めるが、再入場は不可。授業中、映画館と同じマナーを遵守すること。 私語厳禁。準備学習はとくに必用としない。			
事後学習・復習等	授業中に配布した紙資料を熟読すること。			
オフィスアワー	講義の前後に質問を受け付ける			

授業の形式と各回の内容

授業の形式		参考映像やクリップの上映と解説
回	項目	内容
1	映画、映像の歴史	イントロ／リュミエールとメリエス
2	作品研究	サイレント映画研究
3	映画の演出	音と映像
4	作品研究	ハリウッドのモノクロ映画①
5	作品研究	ハリウッドのモノクロ映画②
6	映画の演出／技法	編集とモンタージュについて
7	作品研究	ハリウッドのカラー映画①
8	作品研究	ハリウッドのカラー映画②
9	演出と批評	映画分析と批評
10	作品研究	ヨーロッパ映画（ネオリアリズム）
11	映画のジャンル	ミュージカル映画
12	システム	撮影所システムとブロック・ブッキング
13	作品研究	日本映画研究
14	作品研究	日本映画研究

成績評価の方法	学期末のレポート提出により評価する。再試・追試は行わない。
成績評価の基準	レポート（課題映画の批評 90%、授業中上映した映画の感想 10%）総合して 60%以上を合格とする。
教科書	なし（紙資料を授業始めに配布する）
参考書など	ビデオ・DVD 等は随時紹介する。

